

作成日 2020年 7月 1日

改訂日 2024年 4月 1日

安全データシート (safety data sheet)

1. 製品および会社情報

製品の名称	パフィン オイルマット パフィン パーチマット パフィン フラッグマット
会社名	谷口商会株式会社
住所	岡山県岡山市南区藤田 338-31
電話番号	086-296-5906
FAX 番号	086-296-6507
メールアドレス	info@taniguti.co.jp
推奨用途	水面に漏れた油等の吸着回収

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	該当しない
健康に対する有害性	該当しない
環境に対する有害性	該当しない
GHSラベル要素	なし
注意喚起語	なし
危険有害性情報	なし

3. 組成および成分情報

本製品は成形品であり、通常の使用に際しては化学品としての危険性を有しない。
以下の有害性情報は、内部構成材のポリプロピレン微細繊維に関するものである。

単一製品・混合物の区別	単一物質			
化学名又は一般名	ポリプロピレン微細繊維			
	CAS 番号	含有率(%)	安衛法対象物質	化審法整理番号
ポリプロピレン	9003-07-0	99%以上	—	6-402

4. 応急措置

目に入った場合	清浄な水で十分に洗浄した後、直ちに手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	常温では無害。溶融物が付着すると火傷の危険性があるので、大量の水で十分に冷却し、医師の手当を受ける。
吸入した場合	鼻かみやうがいによりできるだけ取り出し、症状によっては医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合	製品そのものは無害。症状によっては吐き出させ、医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 水、泡消火剤(エアフォーム)、粉末消火剤等を用いることが出来るが、水は冷却効果が大きいので水を使用することが望ましい。

消火方法 一般火災と同じ消火方法を用いて差し支えない。

6. 漏出時の措置

飛散した物を掃き集めて回収、または廃棄する。
 熔融状態で漏出した場合は、水等で冷却し固化した後 回収、廃棄する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い 常温では引火の恐れは無いが、作業場では火気をみだりに使用することを避ける。

保管 紫外線による劣化を防ぐため直射日光を避ける。常温常湿で屋内保管する。

8. 暴露防止および保護措置

管理濃度 設定されていない。

許容濃度 日本産業衛生学会と ACGIH はともにポリオレフィンの粉塵に関する許容濃度を定めてはいないが、次の値を採用するのが妥当と考えられる。

	吸引性粉塵	総粉塵
日本産業衛生学会勧告値	2m g / m ³	8m g / m ³
ACGIH 勧告値	5m g / m ³	10m g / m ³

設備対策 特に不要

保護具 粉砕等で粉塵を発生させる場合、防塵マスク、保護マスクを着用するのが望ましい。

9. 物理的および化学的性質

外観等 白色繊維状

融点 125℃以上

比重 0.89~0.91

溶解性 水に溶解せず

10. 危険性情報

可燃性 あり(消防法指定可燃物)

発火点 約 440℃

水との反応性 なし

酸化性 なし

自己反応性・爆発性 なし

粉塵爆発性 なし

安定性・反応性 常温で安定

1 1. 有害性情報

皮膚腐食性	なし
刺激性	皮膚や眼に対し、物理的な刺激のおそれあり。
急性毒性	なし
慢性毒性	なし

1 2. 環境影響情報

屋外で長期にわたり放置すると紫外線による繊維の劣化・分解が生じ、マイクロプラスチックとして環境に影響を及ぼすおそれがある。製品使用前、使用後に関わらず、海洋生物、鳥類が摂取することを防止する為、いかなる海岸や水域でも投棄、放出してはならない。

1 3. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理法に従って焼却、又は産業廃棄物処理業者に委託する。

1 4. 輸送上の注意

梱包が破れないように、水濡れや乱暴な取扱いを避ける。

1 5. 適用法令

消防法	指定可燃物(合成樹脂類)
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法	非危険物
航空法	非危険物
水質汚濁防止法	非該当
大気汚染防止法	焼却時
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物、廃プラスチック類

1 6. その他の情報

引用文献等	JIS Z 7253 (2019) NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITE-CHRIP 経済産業省 事業者向け GHS 分類ガイダンス
-------	---